

(8枚のうち1)

令和三年度広島県立特別支援学校高等部普通科 (一次募集)

こくご

# 国語

じゅけんばんごう  
受検番号

しめい  
氏名

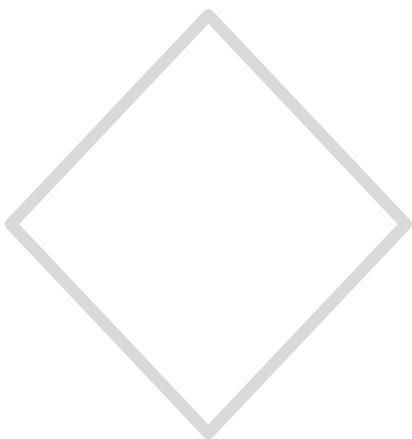
採点責任者

合計

/100

一 次の(1)から(4)の図や文字をなぞって書きなさい。

(1)



(2)



(3)

えにっま

(4)

パトカー

二 次の図の中で、「さかな」はどれですか。「さかな」を○で囲みなさい。



三 次の(1)と(2)の絵を表す続きの文字を、ひらがなで

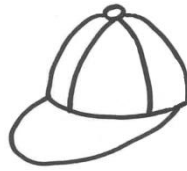
書きなさい。

(1)



つ		
---	--	--

(2)



ぼ		
---	--	--

四 次の(1)と(2)の反対の言葉は何ですか。ひらがなで書

きなさい。

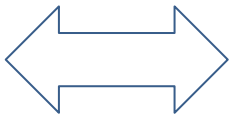
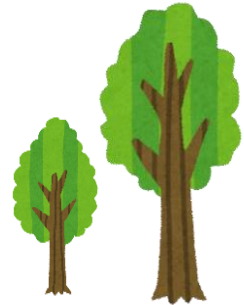
(1)

おい



(2)

たかい



--	--	--

五 次の文を読んで(1)から(3)の問いに答えなさい。

月曜日の朝、つばさ君と正子さんが話をしました。

つばさ君「土曜日に、宮島の弥山に登山に行ってきたよ。」

正子さん「わあ、いいなあ。歩いて登ったの。」

つばさ君「歩いて登ったよ。大きな岩がごつごつして

歩きにくいところがあつて、登るのは大変だったよ。

でも、山ちようから海が見えて、きれいだったよ。」

正子さん「わたしも登ってみたいな。」

(1) つばさ君は、何曜日に登山に行きましたか。

(2) つばさ君は、山ちようから何が見えたと言っていますか。

(3) つばさ君は、どうして歩きにくかったと言っていますか。

(8枚のうち5)

六

次の(1)から(3)の絵は何を表していますか。  
から当てはまる言葉を選び、その数字を□に書きなさい。

□

の中

小計

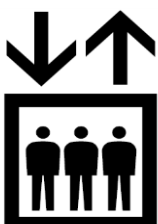
(1)



(2)



(3)



□

□

□

①エレベーター

②非常口  
ひじょうぐち

③エスカレーター

七

例にならない、次の(1)から(3)の言葉を漢字で書きなさい。

広島

例) ひろしまに住んでいる。

(1) 九月なのは、妹のたん生日だ。

(2) ふうせんをかう。

(3) さかなをちようりして、食べた。

りょうり つく かた  
【料理の作り方】

あぶら  
キャベツと油あげのみそしる

ざいりょう ふたりぶん  
《材料 2人分》

キャベツ	60g (グラム)
あぶら 油あげ	20g (グラム)
だしじる	400mL (ミリリットル)
みそ	30~36g (グラム)
きざんだしろ 白ごま	8g (グラム)

つく かた  
《作り方》

1 あぶら  
油あげとキャベツを切る。

2 なべにキャベツとだしじるを入れ  
て中火にかける。

3 なべがふっとうしたら、油あげを  
入れて、キャベツがやわらかくなるま  
で弱火で5分ほどにする。

4 みそをボウルに入れ、3のじるを  
少し入れて、みそをとかし、なべにも  
どす。

5 なべがふっとうしたら、火を消す。

6 うつわにキャベツと油あげのみそ  
しるを入れて、きざんだ白ごまをふ  
る。

八  
次の料理の作り方を読んで(1)と(2)の問いに答えなさい。

(1)

料理の作り方どおりに二人分作るために、次の①と②の材料はそれぞれだけひつようですか。  
に書きなさい。

い。

① キャベツ

g(グラム)

② 油あげ

g(グラム)

(2)

次の①と②は料理の作り方どおりですか。作り方どおりの場合は、  
に○を書きなさい。作り方と違う場合は、

に×を書きなさい。

①

なべがふつとうしたら、油あげとキャベツを入れてキャベツがやわらかくなるまで弱火で五分ほどになる。

②

キャベツがやわらかくなったら、なべの中にみそを全部入れて、ふつとうしたら火を消す。





令和3年度広島県立特別支援学校高等部普通科入学者選抜に係る  
知的障害のみの入学志願者の国語出題意図

1 出題の構成

知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校高等部においては、生徒が、個々の障害の実態や学習上の特性に応じ、また地域の実態等に即して、自立し社会参加するために必要な知識や技能、態度等を身に付けることを指導している。また、社会生活を円滑に営み、望ましい人間関係を形成するために、相手や場面に応じて、ふさわしいあいさつや受け答えをすることなども指導している。

こうした普通科の指導内容を踏まえ、特別支援学校中学部学習指導要領に示されている国語科の基礎的・基本的な力や、その力を活用できる力等を幅広く問う問題で構成した。

2 各問題のねらい

- 線や文字を意識しながら、なぞり書きができるかを問うものである。
- 簡単な語句の意味を正しく理解しているかを問うものである。
- イラストを参考にして、身近な物の名称を平仮名で正しく書くことができるかを問うものである。
- イラストを参考にして、簡単な言葉を理解し、その反対の意味の言葉を正しく平仮名で書くことができるかを問うものである。
- 簡単な会話文の内容を正しく読解できているかを問うものである。
  - (1) いつの話をしているかを書くことができる。
  - (2) 何について話をしているかを書くことができる。
  - (3) 理由を書くことができる。
- 生活の中で見られる表示について、正しく理解しているかを問うものである。
- 生活の中で比較的良好に使用する語句について、漢字で正しく書くことができるかを問うものである。
- 説明書から読み取った事柄を正しく理解しているかを問うものである。
  - (1) 説明書から必要な事柄を読み取り、書くことができる。
  - (2) 説明書の手順を正しく捉えることができる。
- 自己紹介文について、指示された内容を文章に入れて、自分の考えを適切に表現できるかを問うものである。

令和3年度広島県立特別支援学校高等部普通科入学者選抜  
(一次募集)に係る知的障害のみの入学志願者の国語採点基準

【注意】誤字は1字につき減点1点とするが、小問の配点以上に減点しない。なお、正答〔例〕又は採点上の注意に例示のない解答については、以下の採点基準を参考に、各校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正答〔例〕	採点上の注意	配点	
一	(1) 図をおよそなぞっている	・図をおよそなぞっていれば、はみ出しているでも正答とする。	各 3 × 4	12
	(2) 図をおよそなぞっている	・図をおよそなぞっていれば、はみ出しているでも正答とする。		
	(3) 文字をおよそなぞり書きしている	・文字をおよそなぞり書いていれば、はみ出しているでも正答とする。		
	(4) 文字をおよそなぞり書きしている	・文字をおよそなぞり書いていれば、はみ出しているでも正答とする。		
二	さかな (真中の絵)		2	2
三	(1) (つ) くえ	・片仮名は部分点 (2点) とする。	各 3 × 2	6
	(2) (ぼ) うし	・片仮名は部分点 (2点) とする。		
四	(1) すくない	・「少ない」は部分点 (2点) とする。	各 3 × 2	6
	(2) ひくい	・「低い」は部分点 (2点) とする。		
五	(1) 土曜日	・文字種は問わない。	各 5 × 3	15
	(2) 海	・文字種は問わない。		
	(3) 大きな岩がごっごつしていたから	・「大きな岩」のみの場合は部分点とする (3点)。		
六	(1) ②	・○囲いを書かずに数字を書いても正答とする。	各 3 × 3	9
	(2) ③			
	(3) ①			
七	(1) 七日	・漢字1文字のみ正答の場合は部分点 (2点) とする。	4	20
	(2) 風船 買	・漢字1文字のみ正答の場合は部分点 (2点) とする。	4	
		・送り仮名が書かれている場合は減点 (1点) とする。	4	
	(3) 魚 調理	・完答とする。	4	
八	(1) (キャベツ) 60 (g(グラム)) (油あげ) 20 (g(グラム))	・文字種は問わない。	各 4 × 2	18
	(2) 右 × 左 ×		各 5 × 2	
九	私の名前は〇〇です。高等部では、友達にサッカーを教えたいです。その理由は、サッカーの試合をしたいからです。	・「自分の名前」「高等部に入ってがんばりたいこと」「高等部に入ってがんばりたいこと」の3項目の内容を各4点とする。 ・一部しか書かれていない場合は、部分点 (該当の内容×4点) とする。	各 4 × 3	12
			合計100点	